

東日本大震災災害対策NEWS

◇東日本の仲間とともにがんばろう◇

〒336-8512 埼玉県さいたま市南区鹿手袋 6-18-12 Tel.048-863-6211 Fax048-837-1989

岩手県大槌町、大船渡町に埼玉土建（本庄支部の仲間）が駆けつけ大活躍！！



仲間から集まった救援物資の道具類



仲間から集まった道具を梱包する本庄支部の仲間

地元の大工さんの仕事の邪魔しない程度のボランティアと言う事で、それ以上の事も出来ませんが、私は住宅相談と現場管理を任せられ、住宅相談の時には被災された方は勿論、地元の議員さん

や町内会長、避難所生活の人達を含め、沢山の方からの話を聞く事ができ、貴重な体験談を聞く事が出来たと思います。私達が泊まっていた旅館から現場までは、約五〇キロもあり、幾つかの入江を通るけれど、入

【本庄支部・田村正仁記】五月十三日～十九日まで東日本大震災で被害をうけた岩手県に建設ボランティア活動として参加しました。普通のボランティア活動と違い、床板を剥がし床下のヘドロを除去した後また床を張る、防犯の為、割れたガラスの代わりにベニアを入れる等の職人ならではの仕事をやってきました。

仲間から集まった救援物資(道具類)に大変喜ばれました！

旧騎西高校に避難している子どもたちを対象に木工教室を通してボランティア活動を行います

五月十三日、旧騎西高校に避難している双葉町役場へ二回目の訪問をしました。前回懇談した町議会議長でもある清川さんが出迎えてくれ、臨時応接室で対応してくれました。今回の訪問は、前回訪問した時に話し合った木工教室の件でした。技術技能集団でもある埼玉土建として、現在避難所にいる子どもたち(小学生百人、中学生七十人)に対し、ものづくりを通して精神的な心のケアへお手伝いしたいとの申し入れに、具体的にどう進めるかの話し合いでした。さまざまな団体から慰問要請があるため、日程調整や木工教室の具体的な中身について報告・提案しました。そして、双葉町企画担当課で検討した結果、正式に要請があり、七月十七日(日)午前十時から十四時に、技能士会、近隣支部、技術研修センター理事会を中心に、木工教室を通してボランティアの取り組みを行うことになりました。

岩手県連大楯建組仮事務所の開設式。大楯建組事務所は大震災による津波で流失し、避難して助かった事務員の東谷陽子さんの自宅（津波で浸水し被災）を修繕し、一階に事務所を置くことになりました。合わせて首都圏及び関東の東京都連・神奈川県連・千葉県連・埼玉土建及び兵庫県連の復興支援ボランティア参加者による結団式を行いました。当日はマスコミからの取材や報道もあり、五月十四日から地元紙「岩手日報」が「全国建設労働組合総連合の被災住宅修繕ボランティア」の広告を毎日掲載していました。



床下修繕



仲間から集まった道具を手渡す

江それぞれが津波の被害に遭い、テレビや雑誌で見ると酷い状況を感じました。場所によっては潮の香りと魚屋の香りを濃厚にしたような混ざったスゴい匂いがあり、車の窓は開けていられないような異臭状況です。現地に行って、見たり、聞いたりしてみなければ、解らない事だらけでした。



窓枠をふさぐ

職人として誇り、自信を持つことができたと。私達は現地に行くまでは、何をするか細かい事は解らず不安でしたが、住宅修繕で行った家の施主さんは皆、あいさつより先に「ありがとう」と、何よりも来てくれた事が嬉しいと言ってくれました。作業後はさらに大きな感謝の言葉をもらい、職人としての誇りや自信を今まで以上に持つことが出来たと思います。

今回ボランティアに参加し協力してくれた仲間や出会った人達、行くチャンスを与えてくれた人達に、色々な事で感謝したいと思います。また、被災された方達には頑張りすぎず、ボランティアの力を借り復興を目指してほしいと思います。



外壁修繕工

福島県の木造仮設住宅（大工工事業）支援登録募集
 現在、福島県ですすめられている木造仮設住宅の支援登録を募集しています。基本は地元職人の雇用が最優先され、それでも労働力が不足した場合、支援に行きます。必ずしも支援要請がくるとは約束できませんが、その時、即座に対応できるよう登録を呼びかけます。6月6日が締切となります。詳しくは支部事務所までお願いします。登録は大工職です。